

2024
MIYAGI
RECRUIT
GUIDE

宮城県職員ガイド



宮城県職員募集2024

行政

業務紹介

みやぎの未来を、クリエイ。

◆ 概要

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、企画等の行政事務

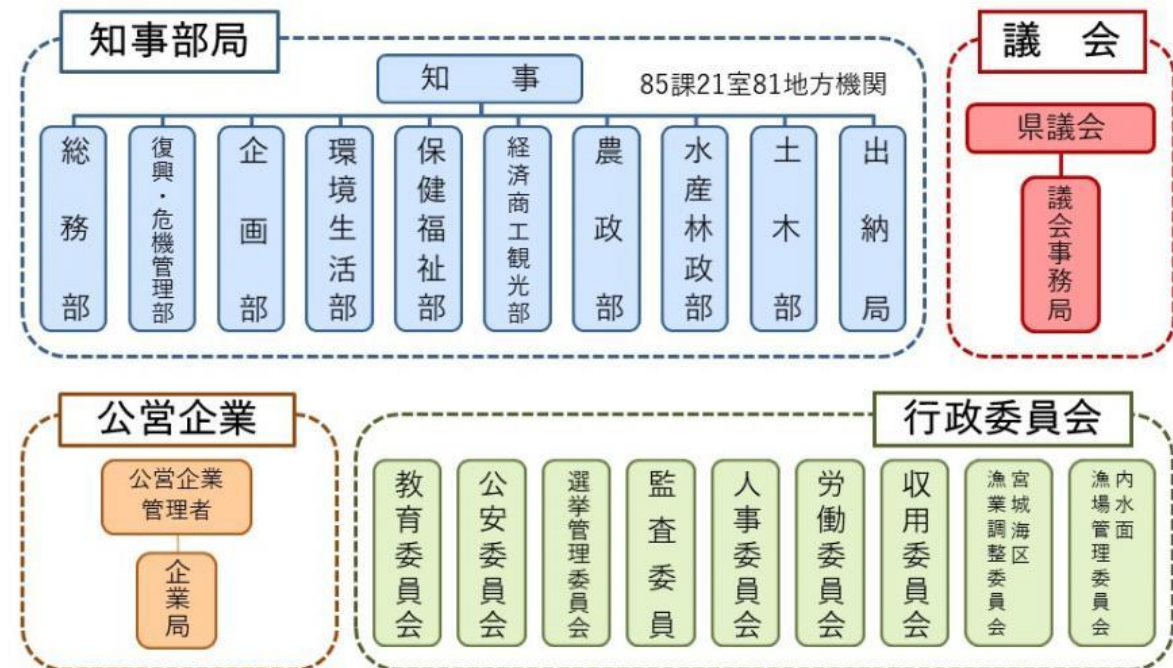
◆ 勤務先

本庁各課
地方機関



宮城県の組織

(令和6年4月現在)



自己紹介

- ◆ 出身 : 黒川郡大和町
- ◆ 入庁までの経歴 : H25.3 県外大学卒業
H25.4 入庁

入庁後の異動歴（現在入庁12年目）

H25.4～ **保健福祉部 北部保健福祉事務所 母子・障害第一班**

保育所監査、ひとり親家庭支援、女性保護業務など

H28.4～ **土木部 土木総務課 総務班**

部の議会対応総括など

R1.4～ **震災復興・企画部 地域復興支援課 復興支援第二班**

地域コミュニティ再生支援、復興庁窓口対応など

R4.4～ **(公財) みやぎ産業振興機構 派遣**

県内企業の取引あっせん支援など

R6.4～ **経済商工観光部 中小企業支援室 企画調整班**

中小企業振興基本計画の策定、中小企業支援に係る補助金交付事務など

志望動機

◆ なぜ公務員？

営利目的ではなく、広く公平に支援する姿勢が、自分にマッチ。

◆ なぜ宮城県庁？

学生時代に東日本大震災を経験し、復興に携わりたかった。

県外に在住し、故郷の良さを再認識したこと。

これまでに担当した業務の紹介①

みやぎの未来を、クリエイト。

北部保健福祉事務所

- ◇大崎合同庁舎(古川)勤務
- ◇住民支援の洗礼を浴びる

「一人親家庭の支援」

- ・就学資金貸付
- ・貸付金回収
- ・DV被害保護

「児童福祉施設の運営監査」

- ・認可、認可外保育所の指導
- ・母子生活支援施設の指導

「保健所業務」

- ・不妊治療医療費助成
- ・精神障害者への適切な医療及び保護の提供

土木総務課

- ◇初の県庁勤務
- ◇調整業務の難しさを知る

「要望陳情の窓口対応」

- ・住民、関係機関からの要望、問い合わせを受け、担当する課室へ割り振り。

「県議会対応」

- ・県側の回答(答弁書)作成
- ・復興現場視察への同行補佐

「県有地の活用策検討」

- ・市町村への権利譲渡

地域復興支援課

- ◇ソフト面の復興支援に苦心
- ◇1千km/月の被災地往復

「地域コミュニティ再生支援」

- ・被災地町内会が活動に必要な物品を補助。
- ・被災住民間交流の調査
- ・コミュニティ支援団体との連携により、持続可能なまちづくりを啓発。

「未利用土地の利活用促進」

- ・沿岸部の賑わい創出のため、未利用地の優遇税制検討やその延長にトライ。

これまでに担当した業務の紹介②

みやぎの未来を、クリエイト。

(公財)みやぎ産業振興機構

- ◇県組織以外へ派遣
- ◇県外企業への営業訪問
(北は北海道、南は九州)

「取引あっせん支援」

- ・県外企業を訪問し、外注ニーズを聞き取り。
- ・県内企業を訪問し、県外からいただいた仕事をマッチング。
- ・商談会の企画開催により、県内企業の商談機会を創出。

「攻めの業態転換支援」

- ・ガソリン車に代わる次世代自動車やその部品の生産にチャレンジする企業を支援。



中小企業支援室

- ◇県職員へ復帰
- ◇現場感の施策反映、落とし込み作業へ

「中小企業者振興基本計画策定」

- ・庁内中小企業支援の施策体系整備を実施。

「中小企業支援補助の実施」

- ・特別高圧電気料金支援事業により、テナントや工場における電気料金の負担軽減を実施。

入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

デスクワークや事務作業が多そう
県庁への来客はあんまりなさそう

◆ 入庁してみたら・・・

意外と現場に出ることが多い（県外の場合も！）

企業・団体、地域住民からの相談、申請、打合せなど
思っていたよりも来客が多い。

仕事をする上で心がけていること

◆ 相手の心を気遣い、誠実に対応すること。

県民、同僚を問わず、相手が心地良く、安心できるよう対処。

誠意は必ず伝わります！

◆ 既成の内容は、常に顧みる姿勢を持つ。

事業の効率性や、より良い実施方法を考えることはとても重要。

前例踏襲に頼りすぎない！

仕事のやりがい

◆ 様々な出会いを通じて、自分の幅が広がること

県職員として、バラエティーに富んだ仕事に従事し、多様な考え方を吸収。
オールマイティーに成長を実感。

◆ 県民からの感謝を受け取ること

直接、間接的に県民から感謝される場面がある。
信頼を得られた際、期待に応えるためにやりがいを実感。

◆ 仲間同士、しっかりした助け合い

⇒多くの部署を渡り歩く行政職にあっては、約3年周期で異動がある。

ゆえに、異動者の周囲が適切にフォローする環境が整っている。

⇒庶務や予算、経理、補助金交付、企画等の行政事務など、どの部署に在籍しても、似たような事務遂行をしており、業務参考とする先がたくさん。周りに尋ねれば、何かしらのヒントを得ることができる。

宮城県職員の魅力

◆ 復興完遂へのモチベーション

甚大な被害をもたらした東日本大震災からの復興は、職員・県民の悲願であり、一丸となり取り組むべき動機がある。

◆ 東北圏でのリーダーシップ発揮

宮城県は、人口や各種産業における東北地方の最大拠点であり、1 地方行政の枠だけではなく、圏域におけるリーダーシップ発揮が求められ、地方活性化に向けた様々な施策展開が肝要。

◆ 時事ネタ収集（新聞記事）

- ⇒宮城県職員になるためには、論文試験、面談試験（複数回）が用意されており、自分の考えを数多く求められる機会がある。
- ⇒記事内容に対して、自分はどう思ったかを表現できるよう、常に考えを巡らせていた。

先輩職員からのメッセージ

みやぎの未来を、クリエイト。

- 職業に関心を持ち、すでに情報収集を進めている皆さんは、大変すばらしいと思います。
- 県職員を目指すにあたり、意欲や気概を持つことは、もちろん大切ですが、あまり気負わず、「宮城県に興味がある」、「宮城県が何となく好き」といった感情を徐々に掘り下げてみてください。
- 様々な仕事に携わるうちに、自分が貢献できる部分は何か、必要な力量はどれくらいかを把握するようになれば、負荷なく仕事ができます。
- 仲間同士助け合いのある職場です。ぜひ一緒に宮城県職員として働きましょう！